

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 若久福祉の里

目標達成計画書

作成日：平成 25 年 05 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者家族の意見の反映	家族の面会が少ない場合は、家族と話し合える機会を持ち、利用者の思いや、家族の悩みが聞ける信頼関係と、何でも話し合える関係を築いていく。	行事を兼ねた家族交流会を定期的を開催し、家族同士で抱える悩みや、心配事を話し合い、家族間の交流と、事業所との信頼関係を築き、利用者が、いつまでも地域で暮らし続ける支援に繋げていく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	入居前に、利用者や家族に、事業所での重度化に向けた支援体制を理解してもらっているが、利用者の重度化に合わせ、家族との連絡を、密に取りながら方針を確認していく。	事業所で出来る終末期の支援と、出来ない支援を文書化し、利用者や家族の理解を得て、承諾してもらい、利用者や家族にとって、最善の終末期の支援を話し合い、安心して地域介護が出来る方法を検討していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。